

## 【在宅療養者の服薬管理に関する専門部会】

### ＜これまでの取り組み＞

- ・当専門部会は、これまで計 8 回（29 年度 2 回、30 年度 5 回、令和元年度 1 回）開催し、「服薬情報の共有、一元化」、「関係機関連携、服薬支援体制」、「患者・家族の理解、市民啓発」等について検討を行った。
- ・令和元年度は、電子お薬手帳（harmo、その他の電子お薬手帳）普及の現状と電子お薬手帳相互連携の仕組み、機能拡張等の ICT 化推進の取組みについて議論を行った。

### ＜今後の方向性＞

- ・電子お薬手帳（harmo）と KURASERU などの情報共有ツールとの連携機能を付加することにより、高齢者及び医療介護関係者が薬剤情報等を共有できる環境を実現する。
- ・地域住民及び関係機関に対し、高齢者の服薬管理の重要性や、かかりつけ薬局・薬剤師の普及及び関係機関連携の必要性について、効果的に普及・啓発を行う。
- ・服薬管理に関する関係者間の情報共有や役割・連携方法等をまとめた支援者向けガイドラインを作成する。

### ＜今年度の取組み（スケジュール）＞

#### 第 1 回 令和 2 年 11 月

- ・電子お薬手帳の機能拡張を含む ICT による医療介護連携システムの進捗状況について
- ・薬剤師への相談に使用するアセスメントシートの作成・活用について

### ＜取組みにあたっての課題・調整案件等＞

- ・情報連携の ICT 化について、harmo 以外の電子お薬手帳とも連携可能となる仕組みづくりが必要である。